



人口減少、超高齢化社会が進行する今、持続可能な都市経営や安全・安心なまちづくりに対応するためには、人口密度を保ち、都市施設が集約され、経済活動の活性化を図るコンパクトシティ構想が重要。

そして、病院、福祉、商業等が集まる「都市拠点」、小学校区など複数のまちが集まる「ちいさな拠点」、「1次産業を支えるまちの「周辺集落」をネットワークで結ぶ「くらしやすいまち」の実現が目指す姿だ。

まちづくりとくらしを向上

コンパクト・プラス・ネットワークによる、安全で利便性の高いまちへ。そして、若者にも選ばれる産業の創出。



少子高齢化の波のなか、子育て環境や高齢者福祉に厳しい地理、本州最北のむつ下北。

子育て世代応援や、高齢者とその家族の安心に加え、子どもたちへの未来に向けた教育によって、持続的にむつ市をつなげていく政策が重要になっている。

子育て・教育と介護

安心して子育てができて、子どもが大きく飛躍し、お年寄りまですべてのひとが笑顔で暮らせるまちへ。

私道等整備補助金交付事業

地域の中にある「身近」で「整備されると安全で過ごしやすくなる」道を整備し、よりくらしやすいまちへ。

私道整備補助金を従来の5割から9割へ引き上げ、市民協働による道路環境の整備に努めます。また、市道等についても早急に整備したいという町内会の要望にもお応えできるよう制度を拡充し、生活環境の向上を図ります。

コンパクトシティ推進事業

「くらしやすいまち」の構築に向け、居住環境の支障となる道路、排水路等の整備を官民連携、市民協働のもと「できるところ」から実施。また、空き家、空き地の利活用を目的とした補助金もスタートします。

通学路や歩行者が多い地区にも関わらず歩道の無い場所に待避ゾーンを設置するなど、よりスピード感を持って地域の魅力向上を図ります。



効果に期待!

- 地域の悩みだったデコボコ道の解消
- 安心な通学路や歩行者への配慮が実現
- 空き家・空き地のリノベがまちの魅力向上
- 生活利便性と経済活動が活性化
- 都市経営コストの適正化

など

もはや私たちの生活に無くてはならないインフラ整備の分野では、私道等の整備に9割の補助金を交付する新制度を構築するほか、居住誘導区域や拠点の道路について地権者の協力を得ながらスピード感を持った整備を進め、全国のコンパクトシティモデル都市にふさわしいまちづくりを目指します。

産業ではにぎわいと活力を。大畑漁港での朝市開催など生産者と消費者の交流を促し、賑わいを創出します。経営の安定化という課題を解決するべく、6次産業化、高付加価値化、そして新たな販路開拓を一層進め、安定した経営と所得の向上を図り、若い世代にも選ばれる魅力ある産業へと育んでいきます。

下北 Project (学びのイノベーション)

本州最北の地であるむつ下北は、大学をはじめ高等教育機関は無く、優れた教育に触れる機会がありません。また、不便な地域ゆえ教員や指導者が不足していて、少子高齢化が進めばこの流れはますます広がる恐れがあります。

そこで、今年度新たに県内・市内の産官学金と東京大学が連携したプラットフォーム「まさかり高校後援会(仮称)」を立ち上げ、東京大学と連携して将来を担う人材育成をスタートさせます。

下北から甲子園 下北から東大生 下北からベンチャー

- 東京大学との連携による野球教室や指導者講習会の実施
- 東大生のコミットメントによる「まさか」高校進学コースの実施
- 東京大学との連携による創業やベンチャー起業講演会の実施

効果に期待!

- 若者人口の減少・地域産業の停滞に歯止め
- 高等教育機会の充実という弱点を補完
- 若者をターゲットとした人材育成と創業支援が可能
- 将来にわたって地域の特性に見合った人材が還流
- 持続可能なまちづくりを可能にする

など

毎日のくらしで身近な課題、子育て、教育、介護。

安心して妊娠、出産ができるように、そしてすべての子どもが健やかに成長発達できるように、きめ細やかな母子保健と家族に寄り添う子育て支援を一体的に提供する仕組みづくりに取り組みます。

増加傾向にある介護が必要な高齢者へのサポートとしては、

住み慣れた地域や家族で安心して生活できるよう見守り、支援するネットワークを広めます。

そして教育分野では、子どもたちの夢を応援するとともに地域の創生、活性化の起爆剤とするべく、夢を夢のままに終わらせない「下北 Project」を開始。日々のくらしに安心を提供し、夢を育む取り組みを進めていきます。

防災ハザードマップ作成事業

万が一に備えて一人ひとりの防災意識を高める

想定を超える災害が数多く発生する近年。むつ市内でもいつ起きてもおかしくない大規模な災害から大切な命を守るため、災害に関する知識や危険箇所を記載したハザードマップを作成します。

従来の防災ハザードマップを大幅に見直し、最新の被害想定を反映させた、分かりやすく見やすいハザードマップで一人ひとりの防災知識の普及、防災意識の高揚を図ります。

大畑漁港朝市開催事業

魅力をおもいきり発信! にぎわいあるまちを創出

多種多様な農林水産物に恵まれるむつ市の強みを活かし、ここでしか味わえない「むつ市のうまいは日本一!」の魅力を発信します。

「朝市」という話題性に「ここでしか味わえない、体験できない」という価値を加え、産業の魅力を発信し、市内だけでなく市外県外の方が来場するイベントにすることで、まちににぎわいを創ります。

高齢者見守りネットワーク強化プロジェクト

地域みんなで高齢者を見守るネットワーク

昨年度運用を開始した高齢者見守りアプリ「Me-MAMORIO」の活用や、認知症サポーターの育成、認知症サポート事業所・団体の認定拡大を図り、地域のみんなが高齢者の見守りの大切さを理解し、行動するまちを目指し、ネットワークを強化していきます。

高齢者本人もご家族もみんなが安心してくらしを暮らせるまちへ、取組みが進みます。

子育て世代包括支援センタープレオープン

妊娠・出産・子育て期を切れ目なくサポート

妊娠・出産・子育てなどに関する情報提供や相談支援のほか、関係機関とのコーディネートなど、相談者に寄り添いながらお話をうかがい支援します。

妊娠から子育て期のさまざまな悩みや相談を、ワンストップで解決する窓口を構築します。